

令和2年6月18日
文教福祉常任委員会資料
教育部生涯学習課

令和元年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、
別紙のとおり報告いたします。

令和元年度 事業報告書

令和2年5月28日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫

(1)業務実施状況報告(元年度)

【管理運営の方針と結果】

近年の急激な社会情勢の変化の中で、自然とのふれあい・自然の中での交流など自然に対する関心が高まりつつあり、野外活動センターの果たす役割と期待は大きく、利用促進に向けた取り組みを実施した。

また、「公益財団法人 宇治市野外活動センター」として以下の目標を掲げて施設運営にあたった。

平成25年度に策定した長期運営計画をもとに、施設運営の成果や課題からも今後の施設運営方針を明確にし、計画に沿った事業展開に努めた。

- 1:「スローライフ」をテーマに、豊かな自然とのふれあいを提供し自主事業を展開した。
- 2:「学び」の場として、林間学習をはじめ生涯学習の場を提供し、新規利用学校を拡大した。
- 3:地域の拠点施設として、地域との連携を大切にし、協力体制を充実した。
- 4:施設を有効に活用し、各種事業やイベントを実施した。
- 5:最小の経費で最大の効果を得るため、経営努力を行ない職員の手でできるものは自発的に実施した。
- 6:お客様の満足を目標に、接客マナーの向上は勿論のこと親身になって相談にのり「また来たい」と言ってもらえるような施設運営に努めた。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策】

地方自治法をはじめ宇治市の関係条例を遵守するとともに公益財団法人宇治市野外活動センターの各種規則等を遵守し施設の公平、平等利用に努めた。

【施設管理状況】1. 利用拡大の取組結果

[元年度の取組み]

・開所 20 周年記念として、感謝祭やクラウドファンディング、シンポジウム、記念誌発行といった新規事業に取り組んだ。

①幼児向け遊具設置をめざして支援を募ったクラウドファンディングでは目標の 50 万円を大きく上回る 78 万 1 千円の支援を集めた。

②生涯学習センターを会場に開催したシンポジウムではフリーアナウンサーの藤田瞳氏を講師に招き、「健康(well-being)」をキーワードに参加者とお話しいたげた。

・「陶器のランタンづくり」イベントを新たに実施した。

[30年度の取組み]

・宿泊棟空調機器改修工事の実施にあわせ、宿泊施設の小修繕(障子やカーテン)を実施した。

・施設内の空地にラインを敷設し、駐車場を増設した。

・「アクトパルであそぼう！」でマルシェを開催した。

・「アクトパル de サバイバル」イベントを新たに実施した。

・応募者の多いイベントはできるだけ定員を増やして実施した。

[29年度の取組み]

・9月に全面オープンしたグラウンド・ゴルフ場を活用した大会の開催や、期間限定でポイントカード制を実施した。

・ホールに体験版のミニグラウンド・ゴルフコースを設置し、利用促進とPRをはかった。

・陶芸クラブを年間通じて実施し、平日の工作棟利用増につなげた。

・増設された駐車場を活用し、利用者の利便性を高めた。

[継続的な取組み]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行なった。

・施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置し、清楚感を取り入れ日々の清掃にも注意を払った。

2. 屋外施設については、自然環境を大切に、自然と一体となった施設管理を行なった。

3. 施設を有効に活用した事業、ならびに自然やふるさとを体験できる事業を開催した。

・「お茶つみ体験&茶団子作り」「ふるさとを味わおう!」「星空観察とホテル」等の事業を実施した。

4. 気軽に参加できるフリーな事業や、利用の減少する冬期に多くの事業を開催した。

・無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。

・「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を冬期に実施した。

・「アクトパル春祭り」「アクトパル秋祭り」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設のPRを図った。

5. 農業体験など、地域の農業や自然を取り入れた事業を開催した。
 - ・「お茶つみ体験」「ふるさと体験(稲刈り、栗拾い、しいたけ菌打ち、餅つき体験)」「ジャガイモ掘り」「さつまいも掘り」等を実施した。
6. アクトパル主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。
7. 様々な利用形態の受け入れ。
 - ・宇治を舞台にしたアニメ「響け！ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに案内ポスター等を設置した。
 - ・ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。
 - ・結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただいた。

【施設管理状況】2. 広報実施結果

1. 宇治市「市政だより」へのイベント開催予定の掲載をした。
2. 新聞各社へ自主事業等の掲載を依頼した。
3. FMうじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。
4. HPIによる「アクトパル宇治」の宿泊等予約情報やイベント情報案内の配信をした。
5. メールアドレス登録者に対してメール配信により情報提供した。(イベント参加者に対する次回イベントの通知)令和2年3月現在登録者数約3,200人
6. 雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっぷる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルール』『ワイヤーママ』等に施設紹介記事が掲載された。
7. 「観光宇治」(宇治市観光協会発行)にイベント情報を掲載した。
8. SNS(Facebook、Instagram)、YouTube を利用して情報発信を行った。

【施設管理状況】3. 職員配置状況

1. 財団事務局長	1人
2. 財団職員	3人
3. 財団嘱託(常勤)	7人
4. 財団管理嘱託(宿直)	4人
5. 臨時職員	7人

【施設管理状況】4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果

1. 地域:地域との交流、連携、貢献を大切に、地域振興の拠点となるよう努力した。
 - ・「アクトパル春祭り」「アクトパル秋祭り」で「地元農家」「市内障がい者施設(手作り小物)」「宮崎陶芸工房(陶芸作品)」等に協力を仰ぎ、イベントに出店していただいた。(4月・10月)
2. 関係機関:市内の小中学校ならびに幼稚園、保育所との連携に努めた。
 - ・市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校に日程の調整をお願いした。
 - ・宇治市新採研修を受入れ、施設の運営状況、概要説明を行った。(4月)
 - ・笠取小学校のふるさと文化の集い(11月)に出展した。
3. 団体:(有)笠取ファームと連携し地域の活性化に努めた。
 - ・(有)笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感溢れる環境を維持した。また食堂運営においては笠取ならではの料理として冬季限定の「笠取鍋」を提供した。
4. 登録団体等:ボランティア団体等の活動を支援し、「アクトパル」の特性をアピールした。
 - ・天体観察を天文ボランティアと協力し実施した。
 - ・「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント(親子 de キャンプ)を実施した。
 - ・木工ボランティア「WOODY MATE UJI」の協力で、「夏休み親子工作デー」を実施した。
5. 団体その他
 - ・大学生ボランティアの協力を得てイベント(ちびっこキャンプ、ちびっこアウトドア)を実施した。
 - ・eco ット宇治の活動に賛同し、秋祭りの模擬店でリユース食器の利用やマイ箸、マイスプーンなどの持参を呼びかけ、ゴミの減少に取りくんだ。また「わいわいホリデー」でもブースを出展していただいた。

【施設管理状況】5. トラブル対応、防犯、防災対策状況

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め注意事項の喚起、施設保全を図った。

 - ・施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
 - ・安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。
 - ・損害賠償請求訴訟で和解が成立した。
2. 防犯対策
 - ・職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無いようお客さまに協力をお願いした。
 - ・玄関、受付等に防犯カメラを設置した。
3. 防災対策
 - ・台風の接近時には施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
 - ・宇治東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
 - ・日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
 - ・火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
 - ・「アスレチック」遊具の安全点検を実施した。(年1回実施)
 - ・防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年2回実施)
 - ・熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
 - ・土砂災害警戒情報発令時は危険箇所該当施設の利用を中止した。
 - ・高温注意情報や光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に放送やチラシで注意喚起した。
 - ・インフルエンザ等の感染症に備え施設各所に消毒用アルコールスプレーを設置した。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月3日から31日まで体育館等、一部施設の使用を休止した。また、お客様には消毒、手洗いうがいの励行を呼びかけた。

【施設管理状況】6. 利用者要望の把握状況及び実施策

1. 日常の接客に当たり、会話を重視しお客様の「声」を積極的に聴取した。
 - ・カギ返却時の「ご利用に関するアンケート」に意見を記入してもらい参考にした。
 - ・食堂メニューの改善要望に対して、食堂運営者との協議を行った。
2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の「声」を事業に反映した。

【サービス向上取組内容】

1. 清潔感あふれる施設管理に努めるため、屋内、屋外の清掃やゴミ拾いを積極的に実施した。
2. 言葉づかい、笑顔など、接客マナーの向上に対して、お客様との会話を重視するとともに対応には「あいさつ」を欠かさないよう努めた。
3. (有)笠取ファームとの連携を密にし、地元と一体となったサービスとして、笠取の食文化、人情に触れる機会を多くするため、「餅つき」等の食をテーマにしたイベントを実施した。
4. 各種イベントの申込み方法を FAX・はがき以外にインターネットの申込フォームからも申し込みできるようにした。
5. ホームページ上で施設予約状況を公開し空き状況を確認できるようにした。またメール、SNS を使って施設の最新情報を発信した。

【管理経費縮減の具体策と結果】

1. 経常経費の縮減について
 - ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。
 - ・電話通話料割引サービスに加入し通信コストの削減に努めた。
 - ・全国一斉ライトダウン運動に協力し最低限の照明を除き消灯した。
 - ・電気コスト削減のため一部施設(宿泊棟)の電球を LED 化した。
 - ・電気コスト削減に向け、高圧電力を料金の安い新電力会社と契約した。
 - ・緑のカーテン(ゴーヤ)を設置し、クーラー利用の縮減に努めた。
2. 低コストの追求について
 - ・利用頻度を考慮して貸出備品を見直し、内容を整理して維持コストの削減・作業の効率化を図った。
 - ・値動き幅の大きい灯油は 2 か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応している。

【管理能力】職員研修計画と実施状況

1. 職員研修の実施

- ・全国青少年教育施設長会議
- ・公益法人向けセミナー（経理、法改正対応）
- ・日常研修：毎朝のミーティング時に実施

2. 職員取得資格

- ・危険物取扱者免状 3人
- ・甲種防火管理講習修了証保有者 2人
- ・学芸員資格 1人
- ・保育士資格 1人

【個人情報保護措置と実施状況】

宇治市の「宇治市個人情報保護条例」の趣旨にそって定めた、「公益財団法人宇治市野外活動センター個人情報保護規則」に基づき、個人情報の厳重な管理を行なった。

- ①職員ミーティングの中で「個人情報保護」の重要性を説き体制の強化を図った。
- ②業務で使用するパソコンについて業務終了後は保管場所への収納を徹底した。
- ③メールアドレス登録者の情報管理の徹底に努めた。
- ④インターネットからのイベント申込情報については暗号化処理を施した。
- ⑤令和元年度においては、個人情報の開示請求はなし。
- ⑥提供されたマイナンバーは厳重に管理した。

【情報公開対応と実施状況】

宇治市の「宇治市情報公開条例」の趣旨にそって定めた、「公益財団法人宇治市野外活動センター情報公開規則」に基づき、保有情報の公開に対処した。

1. 資料の閲覧として事務所に備え置いた業務及び財務等に関する資料を、一般の閲覧にすべて供することができるようにしている。
2. 令和元年度においては、情報公開の請求はなし。

【その他】

(2)施設利用状況報告(元年度)

【施設利用状況】1. 入館(場)者数

冬期に実施されたボイラー改修工事で大浴場が使用できなかったことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、宿泊利用が減少したが、GW10 連休や冬場の利用促進効果もあり日帰り利用が増加した。

令和元年度宇治市総合野外活動センター利用者数 96,965人

〔 ・宿泊 30,787人
・日帰り66,178人 〕

平成30年度宇治市総合野外活動センター利用者数 98,343人

〔 ・宿泊 32,600人
・日帰り65,743人 〕

平成27～29宇治市総合野外活動センター利用者数 (単位:人)

	宿泊利用	日帰り利用	合計
29年度	35,133	66,390	101,523
28年度	38,460	72,732	111,192
27年度	40,759	69,254	110,013

【施設利用状況】2. 貸館状況

令和元年度施設別利用者数

【宿泊施設】		【その他施設】	
・管理棟宿泊室	2,191人	・研修室	9,964人
・宿泊棟宿泊室	23,745人	・体育館	16,723人
・テント (※フリーテントサイト日帰り利用者含む)	※3,605人	・天体観察室	3,153人
・山の家	1,271人	・工作棟	9,221人
		・野外炊事棟	25,718人
		・グラウンド・ゴルフ場	5,934人

平成30年度施設別利用者数

【宿泊施設】		【その他施設】	
・管理棟宿泊室	2,614人	・研修室	12,416人
・宿泊棟宿泊室	25,265人	・体育館	19,198人
・テント (※フリーテントサイト日帰り利用者含む)	※3,375人	・天体観察室	4,617人
・山の家	1,516人	・工作棟	9,388人
		・野外炊事棟	27,930人
		・グラウンド・ゴルフ場	5,663人

平成29年度施設別利用者数

【宿泊施設】		【その他施設】	
・管理棟宿泊室	2,464人	・研修室	12,161人
・宿泊棟宿泊室	27,457人	・体育館	19,587人
・テント (※フリーテントサイト日帰り利用者含む)	※3,861人	・天体観察室	4,703人
・山の家	1,573人	・工作棟	9,248人
		・野外炊事棟	29,445人
		・グラウンド・ゴルフ場	5,037人

平成28年度施設別利用者数

【宿泊施設】		【その他施設】	
・管理棟宿泊室	2,818人	・研修室	14,253人
・宿泊棟宿泊室	29,182人	・体育館	20,994人
・テント (※フリーテントサイト日帰り利用者含む)	※5,166人	・天体観察室	4,946人
・山の家	1,549人	・工作棟	10,872人
		・野外炊事棟	31,322人
		・グラウンド・ゴルフ場	4,860人

平成27年度施設別利用者数

【宿泊施設】		【その他施設】	
・管理棟宿泊室	3,548人	・研修室	14,594人
・宿泊棟宿泊室	30,906人	・体育館	22,030人
・テント (※フリーテントサイト日帰り利用者含む)	※4,823人	・天体観察室	4,290人
・山の家	1,801人	・工作棟	11,041人
		・野外炊事棟	32,086人
		・グラウンド・ゴルフ場	5,221人

(3)管理経費収支状況報告(元年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの 指定管理料	59,003	58,989	宇治市総合野外活動センター 指定管理料	
収入合計(A)		59,003	58,989		
支出	人件費				
	事務費				
	管理費				
	事業費	59,003	58,989	修繕費 3,531 光熱水料費 11,300 燃料費 2,066 委託費 34,390 賃借料 4,392 その他 3,310	
	その他				
支出合計(B)		59,003	58,989		
収支(A)-(B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
 内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4)－1 事業実施状況報告(元年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4)-2 事業収支状況報告(元年度)

団体名 公益財団法人 宇治市野外活動センター

(単位:千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり参加 費	収 支 (A) - (B)	収入		支出(B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講 師 謝 金	材 料 費 等	そ の 他
特になし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること